

本資料及び資料に含まれる第三者著作物を再使用する場合、  
利用者は、それぞれの著作権者より使用許諾を得なくてはなりません。

## In-Class Work Sheet 05 言葉を科学する：人間の再発見（思索と言語）

例 学生番号 \_\_\_\_\_ 名前（よみがな） \_\_\_\_\_

### (9) Class Work 5-1

芸術家（「家（いえ）」ではない）、笛吹き（「吹く人」のこと）、JR 北海道（「鉄道会社」のこと「北海道」の一種ではない）、少年少女（「少女」の一種ではない「少年と少女」）

- (i) 上記「例外」は何らかの補助仮説を付け加えて説明し、「主要部後置規則」は日本語母語話者の基本的言語知識の一部として保持されるべき
- (ii) 「主要部後置規則」が言語知識の一部としてあるわけではない。複合語にはいくつかのパターンがあるのだからそれぞれのパターンを経験から覚えていくだけのことである
- (iii) どのような実験・調査をすれば、(i)と(ii)でどちらがより確からしいか検証できる？

### (36) Class Work 5-2: 赤ん坊の音を区別する能力

- (i) 生まれた時は音の弁別能力不十分。言語に触れながら区別できるようになる
- (ii) 生まれた時からどんな言語音も区別できる。母語に必要ない区別は忘れていく  
・どちらの考えを支持する？その論拠をできるだけ具体的に考えて  
・どのような調査・実験をすれば、その説の確からしさを上げられる？  
(あるいは自分が反対する方の説を否定する論拠が出せる？)

### Post-class worksheet

今日の授業のポイントは？今日の授業で何を学んだか？何を考えるきっかけになったか？  
(ここに書くのは、みなさんの創造的「作品」です。自分がどのように理解したかを丁寧に書いて。ハンドアウトの項目をただ写すだけにはしない)

今日の授業全般に関するコメント・質問（裏面を利用して）